

ジビエ加工センターの運営状況等について

1 令和元年度及び令和2年度のイノシシ・ニホンジカ捕獲実績

施設等	項目	令和元年度 (単位：頭)	令和2年度 (単位：頭)	対前年比	
				捕獲数の差(単位：頭)	率(R2/R1)
① 加工センター 搬入頭数	イノシシ	601	0	▲ 601	0.0%
	(内、加工処理頭数)	231	0	▲ 231	0.0%
	(内、廃棄頭数)	370	0	▲ 370	0.0%
	ニホンジカ	521	573	52	110.0%
	(内、加工処理頭数)	289	406	117	140.5%
	(内、ペットフード)	109	137	28	125.7%
	(内、廃棄頭数)	123	30	▲ 93	24.4%
	センター搬入 合計	1,122	573	▲ 549	51.1%
	(内、加工処理頭数)	520	406	▲ 114	78.1%
	(内、ペットフード)	109	137	28	125.7%
(内、廃棄頭数)	493	30	▲ 463	6.1%	
② 埋設等対応 頭数	イノシシ	736	559	▲ 177	76.0%
	ニホンジカ	546	749	203	137.2%
	埋設等 合計	1,282	1,308	26	102.0%
捕獲数 合計	イノシシ	1,337	559	▲ 778	41.8%
	ニホンジカ	1,067	1,322	255	123.9%
	合計	2,404	1,881	▲ 523	78.2%

ながのご縁を  信都・長野市

2 施設運営経費(経常的運営経費)の推移

(単位：千円)

項目	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R元年度との差
a 歳入	3,917	11,373	7,456
食肉用ジビエ	1,597	9,701	8,104
ペットフード用ジビエ等	2,320	1,672	▲ 648
b 歳出	28,142	22,044	▲ 6,098
産業廃棄物処理費	8,953	4,991	▲ 3,962
人件費、委託費、光熱水費など	19,189	17,053	▲ 2,136
差引(a-b)	▲ 24,225	▲ 10,671	13,554

※令和元年度決算額より、約13,500千円の収支改善

3 令和元年度からの主な改善点

- 商品販路先の開拓(販路開拓アドバイザー、食品加工事業者との情報交換会開催等)
 - ・食肉用ジビエ商品売買契約者数 R元年度：2社 ⇒ R2年度：5社(3社↑)
 - ・ペットフード商品売買契約者数 R元年度：2社 ⇒ R2年度：4社(2社↑)
- 技術職員及び捕獲従事者のスキル向上(職員及び狩猟者研修開催等)
 - ・加工処理率(ニホンジカ) R元年度：6.6% ⇒ R2年度：19.9%(13%↑)
 - ・廃棄頭数の削減(ニホンジカ) R元年度：123頭 ⇒ R2年度：30頭(93頭↓)
- 歳出の抑制(職員の意識改革等)
 - ・残渣処分費の減(食肉用以外の皮、骨、内臓等の販路開拓など) R元年度：8,953千円 ⇒ R2年度：4,991千円(3,962千円↓)
 - ・予算ありきでない施設運営の取組

ながのご縁を  信都・長野市

4 令和3年度の主な取組

(1) 重点的に実施する取組

捕獲従事者の労力軽減につながる取組

ニホンジカ運搬方法の見直しの検討

⇒ 埋設処理頭数の減とニホンジカの供給量確保

学校給食へのジビエ提供によるジビエ普及促進

ジビエの安定した提供先の確保

⇒ 将来的な市内へのジビエ普及促進

(2) ジビエ活用個体の補助金額の見直し

捕獲従事者のモチベーションの向上とジビエ加工センターへの良質なジビエ搬入を目指す。

<ジビエ活用個体の補助金額>

(令和2年度まで) (見直し後)


一律：15千円 ⇒ **優良個体：18千円、普通個体：15千円、ペット：12千円**

<補助金見直しにより期待される効果>

・**ニホンジカ搬入個体数の増加 令和3年度目標 650頭**

【参考 令和元年度：521頭、令和2年度：573頭】

・良質な食肉用ジビエの増加（歩留りの向上）

・販売対象部位の重量の増加に伴う、歳入の向上 **ながのご縁を**  **信都・長野市**